

薬剤名 ○○水和剤
 県名 ○○県

作物 水田作物
 実施場所 ○○普及センター(○○町)

区分 畦畔

土質土性 沖積・壤土
 減水深 2cm/日
 標高 -

品種 ヒ/ヒカリ
 作期 普通期
 栽培方法 移植栽培

移植日 平成○○年5月20日

圃場 (面積)	処理 回数	薬剤名 薬量(水量)(/10a)	処理日	処理方法	処理時の状況 雑草発生(雑草名・草丈・葉齢・発生程度)	殺草経過
確認圃 (30a)	処理 1回目	○○水和剤 250 g(100L)	4月5日	動力噴霧器	メヒシバ 10cm、ギシギシ 5cm、 スギナ 5cm	処理14日後にメヒシバは枯死。ギシギシ、スギナの生育は抑制され、雑草の発生も少なかった。
	処理 2回目					
	処理 3回目					
慣行 (30a)	処理 1回目	○○液剤 300mL (100L)	4月5日	動力噴霧器	メヒシバ 10cm、ギシギシ 5cm、 スギナ 5cm	処理14日後にメヒシバは枯死。10日後から雑草発生および残存個体の再生が目立った。
	処理 2回目					
	処理 3回目					

処理に用いた機器を記載する。

効果の発現、効果の完成と完成時の状態、再生、後発生の有無等を記載する。

乾物重、生体重のいずれかを記載する。

処理後の日数を記載する。

圃場	除草効果 (残草量: 生重量 (g/m ²))								雑草調査日: 5月10日 (処理35日後)				総計 下段()は慣行区比	抑草期間	作物への 影響	評点
	イネ科一年生				非イネ科一年生				多年生雑草							
	メヒシバ	イヌビエ			ホトケ/ザ	イハコバ			ギシギシ	スギナ						
確認圃	7.9	11			0	+			3.8	11			33.6 (33%)	60日	無	A
慣行	19	21			13	8.8			10.7	30			101.8 (100%)	40日	無	

備考(特記事項等):

備考:
 評点が「-」の場合、その理由を記入する。
 気象条件、雑草発生状況等で通常と異なることがあれば記載する。
 農家のコメントがある場合は記載する。